

はじめに

少子化の進行、核家族化、生活様式や価値観の多様化などによって、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化してきました。

このような中、本市では、子どもが健やかに成長し、地域社会全体で子育てを支援する社会づくりをめざし、

平成17年3月に「関市次世代育成支援対策地域行動計画（前期）」を策定し、総合的かつ計画的に子育て支援に関する取り組みを行ってきました。



計画策定後5年が経過し、子どもを取り巻く社会環境は大きく変化し続けています。今日の不安定な経済社会状況をはじめ、晩婚化や晩産化の進行、家庭や地域の子育て力の低下や児童虐待の顕在化、防犯など安全面の問題など子どもをめぐる様々な課題は依然存在しており、これらの課題に対する早急な取り組みが求められています。

このような社会情勢の変化に対応し、今後も子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、これまで取り組んできた前期行動計画の見直しを行い、この度、新たな「関市次世代育成支援対策地域行動計画（後期）」を策定いたしました。

この計画に掲げた具体的な施策を積極的に推進することにより、子育て家庭はもとより、次世代を担う子どもたちへの支援が充実し、親子がともに地域で健やかに暮らすことができる環境づくりに努めてまいります。

市民の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご協議いただきました「関市次世代育成支援対策地域行動計画策定委員会」の委員をはじめ、アンケートなどご協力いただきました市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成22年3月

関市長 尾藤 義昭